

【学校への BLS 教育導入検討委員会】

報告日：令和 7 年 6 月 19 日

【委員長】 立川 法正

【担当理事】 田中 秀治

【活動内容】 (令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日迄)

1. 委員会開催日および議事内容

委員会の開催はありません。

本委員会は、学校教育として児童・生徒に対して、教諭による発達段階に応じた心肺蘇生・AED 教育（以下、「救命教育」という）が広く実践されることを目的に「心肺蘇生の指導方法、指導内容に関するコンセンサス」を策定してきた。これまで、JRC 蘇生ガイドライン 2020 に準拠した内容に改訂する方向で進めてきたが、今後は JRC 蘇生ガイドライン 2025 に準拠した内容を検討していく予定である。

2. 報告内容

本委員会は「学校教育に実技実習を伴う救命教育の導入・普及」を目標に活動している。これは、院外心停止の救命率向上のために活動している国際的なネットワーク GRA (Global Resuscitation Alliance) が提唱している 10 steps の 1 つ「学校とコミュニティにおける CPR・AED トレーニングを義務化」に当てはまり、世界の潮流に沿った活動となっている。

例年、日本 AED 財団 School 部会と連携して活動している。本委員会は学術的な役割、School 部会は実務的な役割と役割分担することで、学校教育として救命教育の導入を目指す上で、より効果的な活動となっている。

毎年、日本臨床救急医学会共催で日本 AED 財団 School フォーラムを開催している。昨年度は、初めて国立大学附属小学校での開催となり、主催として三重大学医学部附属病院 高度救命救急・総合集中治療センターが加わる開催となった。

<令和 6 年度の主な取り組み>

1. 日本 AED 財団 School 部会と連携した活動

※ 当委員会は学術的な役割、School 部会はコンテンツ制作やイベント開催等の実務的な役割で連携

- ・日本 AED 財団 第 7 回 School フォーラムへの共催

日時：令和 7 年 2 月 7 日(金) 場所：三重大学教育学部附属小学校

主催：日本 AED 財団、三重大学教育学部附属小学校、

三重大学医学部附属病院 高度救命救急・総合集中治療センター

共催：日本臨床救急医学会、三重大学教育学部、三重大学医学部附属病院

- ・Dx 教材「Liv for School」の制作への協力

2. 全国学校安全教育研究会との連携継続

- ・第 48 回全国・東京都学校安全教育研究会研究大会

日時：令和 7 年 2 月 14 日 場所：東京都北区立堀船小学校

【活動計画】 (令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

令和 7 年度 (2025 年度) で活動 19 年目を迎える。

引き続き、文部科学省 学習指導要領 (特に小学校) の改定を見据えて「学校での教諭による救命教育の更なる促進」を目標とする。具体的には、

1. JRC 蘇生ガイドライン 2025 準拠「心肺蘇生の指導方法、指導内容に関するコンセンサス」改訂
2. 学校教育として、教諭が児童・生徒に向けて救命教育を実践するための支援
3. 大学教員養成課程における BLS 教育の導入促進
4. 学校安全・危機管理マニュアルへの BLS 教育導入促進

に向け、今後も日本 AED 財団 School 部会と緊密に連携して活動していく。